

2015
大阪転換の
年に

くらし第一、国の政治の流れを変える大阪に

2015年春。いっせい地方選挙がおこなわれます。ゆきづまる大阪をどうするのか。求められるのは、「維新政治」の逆流ではなく、安倍政権の暴走からくらしと自治を守り、明日をひらく大阪府政と市町村政への転換です。

くらし第一、雇用拡大で景気回復

「増税不況」のうえ、「維新」の府民サービス削減、くらし切り捨ては許せません。賃上げと雇用拡大を大企業に迫り、社会保障充実と中小企業振興で庶民のふところをあたためる府政・市政をとりもどしましょう。

大企業は儲けを賃金に回さず
内部留保に積み立てている



防災・福祉型公共事業への転換

橋下・維新流の「成長戦略」はカジノやリニア、大型開発頼み。これまで破たんしてきた道です。公共事業は住民密着—福祉施設の建設や防災、自然再生エネルギー促進の方向へ、抜本的に転換しましょう。



「何でも民営化」はストップ

病院、地下鉄、水道—「何でも民営化」をすすめる「維新」に対し、大阪市では共同の力でストップをかけています。市民の財産を守り、福祉、医療、防災などに公的責任をつらぬく自治体をつくる時です。



住吉市民病院を守れ——区民過半数署名の力でたたかいたがすむ

安心できる子育て・教育を

子どもの医療費助成は全国ワーストクラスの大阪府政。府の責任で小学校卒業まで引き上げれば、府内の市町村でも中卒・高卒まで拡充できます。「35人学級」を広げ、どの子も伸びる教育をすすめましょう。

各県独自の子ども医療費助成制度・通院(2014年度)



“橋下さん流”独裁手法に断罪が

「選挙で勝ったら何でもできる」と独裁的にごり押しする橋下氏。こんなやり方に対し、府議会・大阪市議会は「大阪都案」を否決。市職員アンケート(思想調査)には労働委員会の断罪が下がっています。



昨年9月、大阪地裁で

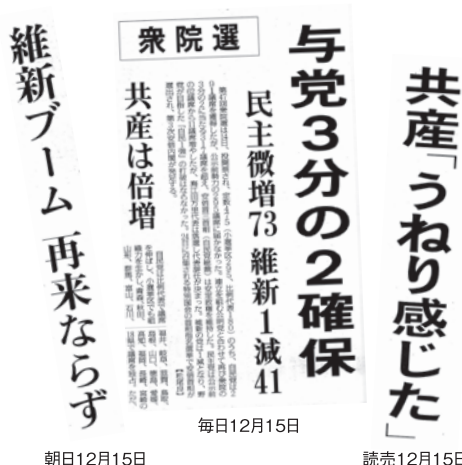
大阪市をつぶす
「大阪都」
ストップ
(裏面に特集)

暴走政治ストップ、政治改革への願い

大阪の総選挙結果から

昨年12月におこなわれた総選挙。

比例代表の得票で見ると、前回と比べ自民、公明は横ばい。「維新の党」は31万票、民主党は8万票減りました。「2大政党」「第3極」といわれた政党に代わり、日本共産党は13万票以上増やし、大阪でも暴走政治ストップ、政治改革への願いが顕著です。



2年前からの大阪の各政党得票増減

